



1月 給食だより

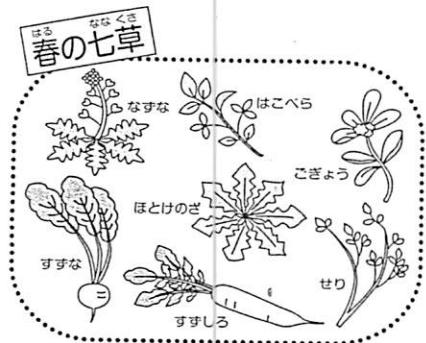
平成29年1月10日

練馬区立向山小学校

冬休みが終わり、新しい年が始まりました。今の学年で過ごすのも残りわずか・・・。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」というように、この3ヶ月間はいつも以上に時間が過ぎるのを早く感じる時期です。食事をしっかりとって、健康第一に過ごしてほしいと思います。給食室では、今年も安全でおいしい給食をみなさんにお届けしたいと思っています。

さて、1月は、これから始まる1年の無事に過ごせるようにと願いを込めた行事や行事食がたくさんあります。七草風雑煮、松風焼、紅白なます（おせち料理）など給食の献立の中にも登場します。



1月10日は、「春の七草」の中のすずなとすずしろを使って雑煮を作ります。11日は「鏡開き」ですので、1日早いですが、雑煮の中に餅の代わりに白玉を入れて作ります。

「春の七草」は、せり・なずな・ごきょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろです。なぜ1月7日に七草を入れたおかゆを食べるのかというと、正月のごちそうで疲れた胃腸をいたわり、新しい年の無病息災を祈ることからだそうです。

<12月20日～12月22日使用食材一覧>

- ◇北海道・・大豆、玉ねぎ、かぼちゃ、バター、ホールコーン
- ◇青森・・ごぼう、にんにく ◇岩手・・鶏肉 ◇群馬・・きゅうり
- ◇埼玉・・さといも、小松菜 ◇千葉・・人参、いんげん、ねぎ、大根、マッシュルーム
- ◇茨城・・赤ピーマン、白菜、れんこん ◇愛知・・キャベツ
- ◇高知・・生姜 ◇長崎・・じゃがいも
- ◇パラグアイ・・ごま ◇ノルウェー・・ししやも
- ◇11月生乳産地実績・・千葉、岩手、宮城、青森、秋田、北海道
- ◇ 1月生乳産地予定・・千葉、群馬、岩手、宮城、青森、秋田、北海道

給食費の徴収にご協力お願いいたします。

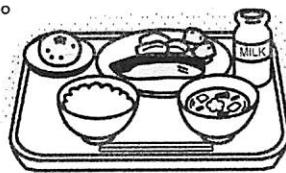
2月の引き落としは、今年度最後の引き落としとなります。2ヶ月分(2・3月分)まとめての引き落としとなりますのでご注意ください。また、残高のご確認をお願いいたします。

2月の引き落とし日は2月6日(月)です。

全国学校給食週間

1月24日～30日

1月24日から30日まで「全校学校給食週間」です。向山小では、24日から27日までの献立の中に「郷土料理」が入っています。この機会に全国のおいしい料理を知つてもらえばと思います。また、学校給食の歴史と現在の学校給食についても特集しました。



学校給食の歴史

明治22(1889)年に山形県にある私立忠愛小学校で、貧しくてお弁当を持ってこられない子どもたちのために昼食を提供したのが始まりとされています。その後、全国へ広まりますが、戦争による食料不足のため、中止せざるをえなくなりました。



戦争が終り、昭和22(1947)年に学校給食が再開されます。子どもたちの栄養不足を改善するため、外国の支援団体などから届けられた脱脂粉乳や小麦粉、缶詰などを使った給食が提供されました。

脱脂粉乳で作られたミルクは、大きなミルクポットに入れられて教室に運ばれました。

※昭和21年12月11日、文部、厚生、農林三省次官通達「学校給食実施の普及奨励について」が発せられ、戦後の学校給食の方針が定まりました。同年12月24日、東京、神奈川、千葉の三都県の学校で試験給食が実施され、この日を記念日としましたが、通常は冬休みのため、1か月後の1月24日からの1週間が「全国学校給食週間」になりました。



現在の学校給食



学校給食は当初、子どもたちを飢えから救い、栄養状態を改善するためのものでしたが、現在では、朝食欠食などの食習慣の乱れ、食べ過ぎや偏った食事による肥満、生活習慣病の増加などが心配されることから、さまざまことを学ぶ“教材”としての役割を担っています。

学校給食の目標

※「学校給食法」(平成20年6月18日改正) 第2条より

- 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、および望ましい食習慣を養うこと。
- 学校生活を豊かにし、明るい社交性および協同の精神を養うこと。
- 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであるということについての理解を深め、生命および自然を尊重する精神ならびに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 食生活が食にかかる人びとのさまざまな活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- わが国や各地域の優れた伝統的な食生活についての理解を深めること。
- 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

